

競技・審判上の注意

1. 本大会は、令和3年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程によりおこないます。ただし、日本バドミントン協会6月4日、6月12日付けのガイドライン、および文科省9月3日付け文書「2文科初第809号『運動部活動に参加する学生等の集団における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について(通知)』」に基づいた対策をとりながら運営をいたします。また、アリーナ上の人数を減らす目的で、初日・2日目は得点掲示係を置かず、線審が得点掲示係を兼ねます。
2. 競技の服装は、大会運営規程第23条の規程によります。ユニフォームの背面には、必ず上段に学校名(やや大きく)・下段に府県名を日本文字で明記してください。文字の色は上衣に鮮明に映えるものとし、ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦20cm・横30cmの大きさを基準とし、文字の色は黒色または濃紺色とします。
3. 原則として、マッチ(試合)番号優先で進行します。(タイムテーブルに示した順を優先します。) マッチが連続する場合は、10分間以上の間隔をあけます。
4. 選手は選手待機所の椅子で待機し、マッチのコールがされたら、速やかにコートに入ってください。コートインが著しく遅れた場合は、棄権とみなすことがありますので注意してください。なお、選手待機所では役員の指示に従ってください(フィジカルディスタンスの確保に協力をお願いします)。
5. 主審の指示によるウォームアップ(2分間)の後、マッチを始めてください。ウォームアップは、ダブルスの場合はペア同士で、シングルスの場合は対戦相手同士で行ってください。シングルスの際の練習シャトルは主管者で用意します。
6. 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、コーチ席を各コート後方に1席のみ設けます。選手のチェンジエンスに合わせて場所を移動してください。また、監督・コーチ・外部コーチは、所定の申請書を提出し承認された者(IDカードを交付された者)のみ認めます。監督・コーチは、試合にふさわしい服装で臨んでください。また、コート周辺での情報通信機器(iPad, 携帯電話など)の使用は禁止します。
7. 各マッチ中のインターバルは、競技規則第16条第2項の規程によります。インターバル中のコート周辺でのアドバイスは1名以内です。アドバイスはチェンジエンス後におこなってください。コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に行ってください。また、監督・コーチは、「20秒」のコールがなされたら速やかにコートから離れ、選手はコートに入ってください。
8. 競技中の汗ふきや水分補給は、必ず主審の許可を得てください。コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しませんので、バッグ等を持参し、主審側コートサイドに置き、汗ふき用のタオル・予備のラケット・水分補給用の容器は各自のバッグに収納してください。容器は、スクイズボトル・ペットボトルなど、倒れてもこぼれないもの(蓋付き)としてください。缶・紙パック類は禁止します。
9. 競技規則第16条第3項による「プレーの中断」以外の中断は認めません。汗ふき・靴のひもの締め直しなどで、故意にプレーを中断することは、厳に慎んでください。
10. シャトルを交換する場合は、主審に申し出てください。主審の判断により交換を行います。
11. 競技フロアへのクーラーボックスの持ち込みは認めません。氷嚢の持ち込みは認めますが、保冷バッグを用いてコーチ席にて保管し、使用はインターバル時のみとしてください。
12. 次のような行為は厳に慎んでください。
 - (1) サービス前の極端に長いサーバーの静止や、極端に遅いレシーバーの構え
 - (2) シャトルの羽根を折ったり、広げたりする行為
 - (3) インプレー中にコーチなどからのアドバイスを受けること
13. プレーヤー同士や監督・コーチとハイタッチ等の接触を行わないでください。

14. 飛沫感染防止のため、マッチ中の発声（サービス前の掛け声、ショットが決まったときの声等）については慎んでください。マッチの状況によっては、各コートの審判が競技を中断の上、該当プレーヤーやペアに注意を与えることもあり得ます。
15. 対戦相手、主審とはお辞儀等をし、握手を避けてください。
16. 審判の判定に対して疑問のある場合は、当該プレーヤーが主審に質問をしてください。ただし、抗議・異議は認めません。
17. 12日(金)ダブルスの敗者には、そのコートでの次のマッチの線審と得点掲示をお願いいたします。13日(土)シングルの敗者には、そのコートでの次のマッチの線審をお願いいたします。それ以外の主審・線審・得点表示係は主管者側でおこないます。14日(日)はすべての主審・線審・得点表示係を主管者側でおこないます。また、サービスジャッジは、ダブルス・シングルスともに準決勝以降のマッチにつけます。それ以外のマッチには原則としてつけません。
18. その他
 - (1) 12日(金)・13日(土)・14日(日)の競技開始前に、コートを使った練習時間を設けます。割り当て(12・13日は府県別、14日は男女別)に従って練習をおこなってください。
 - (2) その他大会運営上の注意事項については、大会本部の指示に従ってください。

一般上の注意

1. 体育館は両会場ともに全日8時30分開場です。
2. 大会期間中(11日～14日)は受付時に、あらかじめ配付した健康チェックシート提出用紙を必ず提出してください。
3. 新型コロナウイルス感染症対策として今回は無観客試合とします。従って、体育館へ入館できるのは、9月30日までに登録された選手・監督・連絡責任者、当日提出される外部コーチ申請書によって申請されるコーチ・外部コーチのみです。また各校の監督・コーチ・外部コーチは男女別に、最大2名までが入館可能とします。
4. 初日・2日目で敗退した学校は最終日に入館できません。最終日に入館できるのは、準決勝に出場する選手とその監督コーチおよび該当校の選手、各府県委員長とその学校の選手、専門部強化スタッフとその学校の選手、大会役員、運営役員および補助員とします。
5. 感染症予防対策について、主管者側でできる限りの準備はいたしますが、各校で自衛に努めてください。
6. 上履きと下履きの区別をはっきりさせてください。下履きは靴袋に入れて持ち歩き、下駄箱は使用しないでください。
7. 必要な場所以外への立ち入り、会場施設や備品の破損などは厳に慎んでください。
8. 各自の荷物は、各チームで責任をもって保管してください。また、更衣室には荷物を置かないでください。(盗難が発生しても、大会本部は責任を負いません。)
9. 会場内の電源使用は一切できません。また、フラッシュを用いての写真撮影は禁止です。
10. 会場内では、競技中以外は必ずマスクを着用してください。会話の際はもちろん、人との距離が十分にとれている場合・場面であってもマスク着用をお願いします。
11. 応援は、競技に支障をきたすことがないようにお願いします。また、観客席では立ち上がりずに着席して応援してください。また、飛沫感染予防の観点より、声援を不可とし、拍手に限定し指定した席で行ってください。席を移動しての応援や手すりからの応援はしないでください。
12. 部旗等の掲示はできません。

13. 体育館内外ともに、競技フロア以外ではラケットやシャトルを使った一切の練習を禁止します。
14. 感染症拡大防止の観点から食べ残し飲み残しの放置を厳禁とします。飲食物・ゴミなどの後始末は、各チームの責任で行い、持ち込んだ物については、必ず各自で持ち帰ってください。
15. 大会が終了しましたら、IDカードケースを返却箱に返却してください。
16. 参加者は各自の携帯電話に感染確認アプリ「COCOA」をインストールし、会場内では携帯することを推奨します。

宿泊・弁当について

1. 宿泊・弁当については、JTBが担当します。
2. お弁当は11時（予定）に到着し、14時（予定）に引き取りにきます。引取時間までに弁当の空き箱を指定の場所まで持ってきて下さい。

優勝杯・優勝盾返還式および表彰式について

1. 開会式・閉会式は、新型コロナウイルス感染症対策のため行いません。ただし、優勝杯・優勝盾返還式は各会場で行います。前年度優勝杯返還者は返還の要領について、あらかじめ役員員の指示を受けてください。アナウンスが入り次第、フロアまで降りてきてください。
2. 表彰式は、11月14日（日）の競技中随時行います。
3. 優勝杯・優勝盾返還式は、プログラムの「大会日程」を参照してください。

その他の注意点

IDカードについて

1. 無観客試合を実施するに当たり、受付で交付したIDカードを館内では必ず身につける、あるいは携帯してください。
2. コーチ・外部コーチのIDカードは各校1枚発行し、学校毎に申請のあった方の名前を全て記載します。IDカードに名前の記載のない方は館内へは入れません。
3. 複数のコーチ・外部コーチを申請し承認された学校は、館外で相互に手渡しをしていただき、館内では必ず身につける、あるいは携帯してください。
4. 大会が終了しましたら、IDカードを受付に返却して下さい。

コーチ申請について

シングルスのみ出場する学校については、大会2日目の申請を認めます。それ以外の学校は初日（11月12日）に必ず全員のコーチ申請を済ませてください。